

令和2年度全学FD委員会教育情報マネジメントワーキンググループ活動計画
 —FD推進センター基本計画の教育情報マネジメントワーキンググループ活動計画への反映—

FD推進センター基本計画	中期計画（平成30年度～令和2年度）	
令和2年度 教育情報マネジメント ワーキンググループ活動計画	③質保証体制を踏まえて実施されるFDの成果とその充実を支援する情報の収集と 発信及び教育ツールの開発と充実 —FDガイドブックの充実・新規教育ツールの開発—	中期計画①、②及び他ワーキン ググループとの連携
「日本大学FD NEWSLETTER」の作成	質保証体制を踏まえて実施されるFDの成果とその充実を支援する情報の収集を行い、部 科校の先進事例や最新のトピックス・イベント等を取り上げつつ学内外に発信する。	他ワーキンググループから提 供される情報の可視化を図 る。
『日本大学FDガイドブック』の成果の測 定と改善案の検討	令和元年度に大幅な内容改訂を行った。そのため、その効果の測定と改善案の検討 を行う。また、配布や活用方法に関する方策についても、重点的に検討をしたい。	他ワーキンググループとの連 携を図り、効果測定の実施と 成果の測定を検討する。
『日本大学FD研究』の編集・刊行	教育業績への反映も見越して投稿原稿の種類改訂を平成30年度に行ったが、新た に学生への投稿を促すカテゴリーの創設を検討したい。また、ポスターやチラシを 用いるなど、効果的な周知方法についても検討し、今まで以上に積極的な投稿を呼 びかけ、高等教育開発・研究に関する論考や活動報告などを学内外に共有すること により、組織的な教育の質向上を図ることを目的としたい。投稿原稿は期限を設け ず随時受付する。採用が決定された原稿は迅速に日本大学FD推進センターウェブサ イトにおいて公開することを通して、質保証体制を踏まえて実施されるFDの成果と その充実を支援するとともに、『日本大学FD研究』のさらなる内容充実を図る。	教育業績評価やポートフォリ オ等に係る情報の共有を図る とともに、質保証体制の充実 と日本大学教育憲章を捉えた FD活動の各学部レベルの活動 報告を積極的に取り組んで学 内外に発信する。
FD推進センターウェブサイトの具体的活 用方法の継続的な検討と展開	FD推進センターウェブサイトを中心とし、ステークホルダー（学生、保護者、教 職員、その他関係者）との継続的かつ効果的なコミュニケーションの方法につき抜 本的に検討し、計画を立案、一部実行に移す。	継続的かつ効果的なコミュニ ケーションの方法の検討を進 め、質保証体制の充実につな げる。

中期計画①, ②及び他ワーキンググループとの連携	上記4つの活動計画を実施すると同時に、リーダー会議等を介しWG間の会議を密にして連携を強める。各WGでの活動に他のWGのメンバーが1人でも参加することにより連系は密になるものとする。また、各WGで実施したFD活動を必ず論文化し、学内全体また学外へ広く知らせることを徹底したい。
--------------------------	--

【中期計画（平成30年度～令和2年度）参考】

- ① 保証体制の充実に資する本学FDの在り方の調査と方針の明確化：マクロ・ミドル・マイクロそれぞれの観点から補完する諸方策等の検討
－教育業績評価・ポートフォリオ等の在り方－
- ② 質保証体制の充実と日本大学教育憲章を捉えたFD活動の各学部等への浸透策の展開
－ワークショップ等浸透に関わるプログラムの充実と改善－